

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

九州医療センター附属福岡看護助産学校助産学科
実施報告書



実施主体 九州医療センター附属福岡看護助産学校 助産学科
実施内容 平成25年10月4.5日の学校祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状や、予防についての授業の振り返り
厚生労働省のホームページに記載されている内容の閲覧
ポスターの掲示

②実施期間に取り組んだ具体的内容

啓発ポスター、リーフレット、オレンジリボンの配布
学校祭で、学生がオレンジリボンをつけ、教室のホワイトボードに運動の概要を記述して説明した。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

福岡県は児童虐待が多いと来場者に伝えると、実際に近隣にいたという話やオレンジリボン運動のきっかけとなった事件を知っているということを知り、児童虐待に対して関心が強いということを実感した。しかし、一方で、実際にオレンジリボン運動について知らない人も多く、今後もオレンジリボンをバッグにつけるなどして啓発していきたいと感じた。また、児童虐待が起こらないように支援ができる助産師になりたいと思った。

